



大阪大学

人権問題に関する講演会 障がいのあるひとの 文化芸術活動と その市場について

令和3年
7/2(金)
14:00~16:00
オンライン開催

対象者 全教職員、学生及び一般の方

参加申込 お申し込み、参加方法の詳細はこちらのコードからご確認ください



講師

アトリエ インカーブ クリエイティブディレクター、社会福祉法人素王会 理事長、
大阪大学男女協働推進センター 招へい教授

今中 博之氏

講師紹介

1963年生まれ。ソーシャルデザイナー。偽性アコンドロプラージア（先天性両下肢障がい）。2002年に社会福祉法人 素王会 理事長に就任。知的に障がいのあるアーティストが集う「アトリエ インカーブ」を設立。アーティストの作品を国内外の美術館やギャラリー、アートフェアに発信する。ソーシャルデザインにかかわる講演多数。グッドデザイン賞（Gマーク・ユニバーサルデザイン部門）、ディスプレイデザインアソシエーション（DDA）奨励賞など受賞多数。著書に『壁はいらない、って言われても』（河出書房新社）、『アトリエ インカーブ物語—アートと福祉で社会を動かす』（河出文庫）、元厚生労働事務次官・村木厚子さんとの共著『かっこいい福祉』（左右社）、などがある。

アトリエ インカーブ <http://incurve.jp>

講演内容

「社会福祉法人素王会 アトリエ インカーブ」は、知的に障がいのあるアーティストの作品を「現代アート」に位置づけ、国内外の市場に発信しています。作品や商品を二束三文で売買する「福祉的バザー」ではなく、一般的な美術の商取引が成立する国内外の通常のアートフェアで展示・販売を行ってきました。その評価は、SDGsの「目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」ことにつながりました。障がいのある人を含むすべての人が、働きがいのある人間らしい仕事を通じ、同一労働同一賃金を達成することがSDGs目標8とアトリエ インカーブのターゲットです。多様な人々の社会参加を促進し、インクルーシブな社会づくりのヒントをお話しさせていただきます。

障害のある方など、特別な配慮が必要な場合は6月18日(金)までにご連絡ください。

お問い合わせ：総務部総務課法規係（TEL 06-6879-7015）

主催：大阪大学人権問題委員会

共催：大阪大学学生生活委員会 / 大阪大学男女協働推進センター / 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター

